第４章　計画区域の将来像及び基本方針

第３章にて課題と求められる対応等を整理した結果を踏まえ、今後の事業実施に必要となる計画区域の将来像及び基本方針を定めました。

１　計画区域の将来像

本計画区域では、花桃や四季折々の花が咲く花畑、市民等の管理による花壇、水辺に気軽に親しめる施設、これらを活用したイベントの開催などが行われる「中川やしおフラワーパーク」や「中川やしお水辺の楽校」が整備されています。

また、野球やサッカー等のスポーツ活動を行う場所として、「大瀬運動公園」、「下河原運動広場」、「中川やしおスポーツパーク」が整備されています。

これらの観光資源や市民等の活動拠点を一体的な空間と捉え、将来を見据えた、更なる利活用や拠点間の連携事業の検討及び推進、既存施設の再整備等を実施することにより、魅力ある新たな本市の健康づくりやにぎわいの空間を創出するため、将来像を次のように定めます。

花めく やしおの中川

多様な市民活動による
健康づくりのゾーン











2 計画区域の基本方針

(1)市民の健康づくりを支える空間づくり

- 公園内に配置される既存の屋外スポーツ施設については、公園機能を精査した上で、本市のスポーツ振興において必要な屋外スポーツ施設機能を検討し、再整備等に取り組みます。
- 特に大瀬運動公園は「Sports(スポーツ)拠点」として、市民の健康づくりを支える場となるように、野球等のスポーツのほか、身近なレクリエーションなどを通じて、楽しんで健康づくりができる環境整備を進めるため、優先的に整備を行い、気軽に健康づくりに取り組める場を整えます。
- 併せて、災害時の防災活動や避難場所等となるよう防災機能を整備します。

(2)多様な活動ができる空間づくり

- 市民の多様な活動や運動の場を確保するため、既存の河川区域や周辺の空間を活用し、新たなスポーツの場や多様な利用ができる施設整備に努めます。
- 特に、下河原運動広場は、「Activity(アクティビティ)拠点」として、誰もが利用しやすい空間やアーバンスポーツ※1などの新たなスポーツの施設整備について検討するとともに、借地部分等を取得後において、市民の多様な活動に活用できる場を優先的に整備します。

(3)周遊性などを活かす空間づくり

- 中川新堤防や旧堤防の活用により、市内及び市外地域へスムーズな移動ができるため、周遊性を活かし、安全性を高めたウォーキングやジョギングコース、サイクリングコース等の構築に向けた取組みについて、関係機関等と連携し検討します。
- 特に、中川河川敷包括占用区域は、「Recreation(レクリエーション)拠点」として、大瀬運動公園や下河原運動広場の２つの拠点の中心的な場所に位置すると共に、市内外から多くの人々が訪れていることから、施設の充実や中川の水辺活用により、関係団体等と既存施設を活用したイベント等の開催などを推進し、観光地としての発信力を強化します。

(4)協働で魅力を高める空間づくり

- 上記を踏まえ、本地域の「花×みどり×水」あふれる空間の魅力向上を図ると共に、将来にわたり持続可能な活動や施設運営を確立するため、産学官民の連携や民間活力等の導入による取組みについて検討します。
- 各拠点施設と遊歩道等を接続させ、市内外での河川敷利用の活性化に努め、また、公園・屋外スポーツ施設の機能向上、機能分担及び防災機能等を推進します。

※1 アーバンスポーツ：スケートボードなど若い世代に人気な都市型スポーツです。


凡例
新堤防の管理用通路
旧堤防遊歩道
駅及び近隣市へのアクセス
各拠点
草加市・越谷市へ
アクティビティ
Activity拠点
（下河原運動広場）
レクリエーション
Recreation拠点
（中川河川敷包括占用区域）
遊歩道等
八潮駅
スポーツ
Sports拠点
（大瀬運動公園）
東京都足立区へ
水元公園へ
N
0
0.25
0.5
1 (km)

各拠点等位置図